

平成28年度 事業報告書

I. 法人の概要

1. 設立年月日

社団法人設立昭和57年7月3日（平成25年4月1日に一般社団法人に移行）

2. 定款に定める目的

この法人は、ゴルフ用品の品質、性能の向上と安全性を確保しつつ、生産及び流通の合理化と消費者対策の改善を図って、ゴルフ用品産業の健全な発展に努め、もって、国民の体育と生活の向上に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- 1) ゴルフ用品の生産、流通及び消費に関する調査
- 2) ゴルフ用品の生産技術の開発及び安全性の確保
- 3) ゴルフ用品の品質及び性能の規格化の推進
- 4) ゴルフ用品の模倣品や偽造品防止対策
- 5) ゴルフ用品の工業所有権の保全
- 6) ゴルフ用品の普及、啓蒙の促進
- 7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁

内閣府 大臣官房 公益法人行政担当室
事業の相談は 経済産業省 製造産業局生活製品課

5. 会員の状況

- 1) 平成28年 4月 1日現在の正会員、賛助会員の数
(1) 正 会 員 304
(2) 賛 助 会 員 9 合計 313社
- 2) 平成28年度に入会された正会員、賛助会員の数
(1) 正 会 員 10
(2) 賛 助 会 員 1
- 3) 平成28年度に退会された正会員、賛助会員の数
(1) 正 会 員 21
(2) 賛 助 会 員 2
- 4) 平成29年 3月 31日現在の正会員、賛助会員の数
(1) 正 会 員 293
(2) 賛 助 会 員 8 合計 301社

6. 役員状況

会 長	1 名	(非常勤)	常 任 理 事	10名	(非常勤)
副 会 長	2 名	(非常勤)	理 事	20名	(非常勤)
専 務 理 事	1 名	(常 勤)	監 事	3名	(非常勤)

(H29.3.31 現在)

7. 主たる事務所と事務局の構成及び支部の状況

- 1) 主たる事務所 東京都千代田区外神田 6-11-11 神田小林ビル 4F
- 2) 事務局の構成
理 事 (常 勤) 1 名 (専務理事・男子)
職 員 (常 勤) 2 名 (女子1・男子1) (内,男子1名は西日本支部)
派遣社員 1 名 (女子)
- 3) 支部の状況
東 日 本 支 部 : 東京都千代田区外神田 6-11-11 神田小林ビル 4階
西 日 本 支 部 : 大阪市中央区石町 1-1-1 天満橋千代田ビル 2号館 9階
中 部 日 本 支 部 : 愛知県名古屋市中区千代田 5-4-16 東郷ビル 5階
(株)ダンロップスポーツマーケティング内

II. 主たる事業内容

1. 会員の増強と組織の活性化（総務委員会・広報委員会）

1) 会員相互の連携と勧誘活動。

協会ホームページやジャパンゴルフフェア出展募集期間中及びフェア会場内の協会ブースに於いて入会勧誘活動を行ったが、正会員10社の入会に留まった。更に倒産、廃業、閉店などを含め退会が21社を数え、期末正会員数は11社減の293社となった。なお、賛助会員数は1社減の8社となった。

2) 広報紙JGGAニュースを毎月発行（年間12回）。

協会の主催事業及び協力事業の報告、各支部の活動報告、各委員会の活動報告、国内外の情報、市場データの紹介、業界の活性化活動の状況など幅広い情報の中から、毎月開催される広報委員会において編集作業を行い適宜掲載した。また会員に対してニュースの送付手段については要望を聞き、WEBでの閲覧の広がりを進めた。

19番ホールについては引き続き理事に協力を求め寄稿してもらった。

3) OFFICIAL HANDBOOK（会員名簿）の発刊

平成28年はOFFICIAL HANDBOOKを発行せず翌平成29年に発行する予定で有る事も告知した。尚住所、TEL、ホームページ、Eメールアドレスの確認、修正は随時行い発行時に反映させる。

4) ホームページ（HP）の有効活用

ジャパンゴルフフェア、JGGAニュースの紹介、事業内容の紹介、業界情報のリンクバナーによる紹介、製造渉外委員会で検討した各種取決め情報等のほか新着情報は「お知らせ」でタイムリーに掲載した。またHPの更新頻度を高め閲覧者の増加、情報発信の強化が図られた。

2. 教育・研究事業

1) 第41期ゴルフ用品販売技術者講習会を開催（講習会委員会）

*講習会の目的

ゴルフクラブ及びゴルフ用品の科学的基礎知識を修得し、理論に基づいた販売技術の向上を推進すると共に消費者へのサービス向上とゴルフ用品産業のレベルアップに貢献することを目的とする。

*講習期間 平成28年8月22日（月）～8月25日（木）の4日間

*講習会場及び宿泊場所

LMJ 東京研修センター（文京区本郷）

*科目及び講師と講義時間

	科目	講師名	所属	時間	配点
(1)	ボール	岡本 好生	アキシネットジャパン	1時間20分	70
(2)	ゴルフ用具	福沢 和彦	ブリヂストンスポーツ(株)	1時間30分	100
(3)	ウェア	川井 秋彦	(株)デサント	1時間20分	60
(4)	ゴルフシャフト	谷津田愛樹	日本シャフト(株)	1時間20分	70
(5)	ゴルフクラブの基礎知識	益田 直幸	ミズノ(株)	2時間00分	150
(6)	ゴルフクラブの進化	中嶋 元	(株)フォーティーン	1時間20分	80
(7)	ツアープロのクラブサポート	女部田真弘	ミズノ(株)	1時間10分	50
(8)	クラブフィッティング	清水 俊充	ミズノ(株)	1時間10分	50
(9)	ゴルフ用品市場動向	三石 茂樹	(株)矢野経済研究所	1時間20分	70
(10)	ゴルフコンディショニング理論	石渡 俊彦	スポーツコンディショニング研究所	2時間00分	70
(11)	接客技術	渡辺 満枝	(株)EMMY	2時間00分	50
(12)	店頭の活性化	宮木 淳	日本VMD協会	1時間30分	60
(13)	ゴルフ用具規則	市村 元	(公財)日本ゴルフ協会	1時間20分	60
(14)	公正競争規約	宮地 弘孝	スポーツ用品公正取引協議会	1時間20分	60
	合計			20時間40分	1000

太字は今期よりの新任講師

*講師人数：14名（内、外部講師6名）

*講習時間：20時間40分（14科目）

*受講者数：68名（男性63名、女性5名）

- *受講者の年齢 平均 30.5歳 (最高46歳、最低年齢21歳)
- *認定試験合格者数: 68名 *認定試験合格者には資格認定証と吊り下げ用写真名入り認定パスカードを授与した。*累計合格者数: 3,821名
- *合計得点 平均 847.9点(1,000点満点) 最高 980点、最低 701点

2) セミナーの開催

(1) 『ゴルフ用品セミナー』

- 【日時】 2017年3月24日(金) 12:00~13:15
- 【場所】 パシフィコ横浜 アネックスホールF206
- 【講師】 三石 茂樹氏 ((株)矢野経済研究所)
トム・スタイン氏 (ゴルフデータテック社)
ジョン・クルジノウェック氏 (ゴルフデータテック社)
- 【タイトル】 「世界のゴルフ用品市場規模と動向(2014~2016年)」
- 【対象】 JGGA 会員及びゴルフ業界関係者他。
- 【費用】 会員 無料 非会員 1000円
- 【参加】 77名(会員 71名 非会員 6名)

(2) R&Aセミナー

- 【日時】 2017年3月25日(土) 13:00~14:30
- 【場所】 パシフィコ横浜 アネックスホールF204
- 【講師】 スティーブ・オットー氏 (R&A)
- 【タイトル】 「R&A用具規則フォーラム」
- 【対象】 JGGA 会員及びゴルフ用具製造・卸・小売関係者
- 【費用】 会員 無料 非会員 2000円
- 【参加】 58名(会員 55名 非会員 3名)

3) ゴルフ用品業界への信頼向上、活性化への取り組み(製造渉外委員会)

(1) ワーキンググループ(以下WGと記す)による活動

用具ルールWG、標準化WG、模倣品対策WGにより以下の活動を実施した。
各WGの開催は、2016年: 4/7, 5/12, 6/9, 7/7, 8/4, 9/8, 10/6, 11/10, 12/8,
2017年: 1/12, 2/9, 3/9 計12回

(製造渉外委員会全体会議は、5/12, 9/8, 11/10, 12/8, 3/9の計5回開催)

(1.1) 用具ルールWG

近年ゴルフ用品ルール適合外品が市場で流通している現状に対し、用具を供給する側の立場として、適合外品に関するルール上の問題や疑念が生じないように、適合外品が製造・販売される場合には、当該製品が適合外品であることを明確に表示し、必要に応じて適切な説明を加えることをJGGAの取組みとして継続して行っている。

会員企業の皆様に協力を呼びかけるため、「適合外クラブヘッドの識別に関するガイドライン」を作成し2015年12月10日に全会員企業に発信し、このガイドラインを業界全体および一般ゴルファーへ周知を図り店頭や競技の現場で現物による確認ができるような環境にする為の活動を行ってきた。

その一環として2016年9月にゴルフクラブヘッドの製造・販売を行っている会員企業66社にアンケートを送付し、このガイドラインの実施状況、会員以外への公表について意見収集した。その結果31社から得た回答を以下に要約する。

質問1) 適合外ゴルフクラブヘッドを自社製品として製造・販売しているかどうかに関して

→回答集計結果 ①製造販売している: 18社 ②製造販売していない: 13社

質問2) ガイドラインの公表について、懸念されることはありますか?

→回答集計結果 ①ない: 25社 ②ある: 5社 未回答: 1社

質問3) 2016年12月に公表することについて問題はありますか?

→回答集計結果 ①問題ない: 24社 ②もう少し遅らせるべき: 2社
③公表すべきではない: 3社 未回答: 2社

公表については概ね賛同を得たが、内容を充分ご理解していただけていないと思われるコメントもあったことから、調査を行った企業に調査結果の報告をすると共に、ガイドラインの要点を絞った説明資料を送付し再度協力依頼した。

今後、流通現場での意見収集を含めて普及促進を図りながら、普及状況を定期的に調査し会員企業に報告していく。

(1. 2) 標準化WG

各社毎に異なった「測定方法・表示」がされている「ゴルフクラブのスペック表示」を標準化して「より安心して購入できる」「メーカー間の比較検討が容易になる」環境を整えるべく活動中。

2015年11月に発行した「ゴルフクラブのスペック測定に関するガイドライン」の導入を促進するために、現状調査の一環として2016年4月に、製造渉外委員会メンバー企業10社に導入の予定についてヒアリングした。その結果、導入時期を決定された会員企業は1社のみで、導入時期・項目については検討中、あるいは当面は現状の自社基準にJGGA基準を併記する予定という回答が6社、審議はしているが現時点でまだ未決定と言う回答が3社であった。

各社毎の新製品発売時期により導入時期が異なることは予想されるが、現状では各社ともに、他社動向を見ながら、という姿勢が強い模様であった。この状況を踏まえて会員各企業が導入に踏み切れるような環境を作るべく検討継続中。その一環として、「ゴルフクラブのスペック測定に関するガイドライン」をJGGAホームページにも掲載して欲しいとの要望が会員企業からあり、1月20日に掲載した（日本語と共に英語訳も掲載）。

また、ガイドラインの普及状況・販売現場のご意見等を情報収集するため、小売りのJGGA会員企業へのアンケート調査を実施した。

ガイドラインの追加として策定中の「シャフトに関するガイドライン」については、シャフトメーカー2社にも参加頂き、項目及び現状での計測方法のリストアップを行い選別中。

(1. 3) 模倣品対策WG

2012年月より推進している模倣品対策ラベルは5年を経過し、国内外29社のメーカーが参加、年間400万～500万枚のラベルを発行し順調に推移しているが、中国市場において、模倣品クラブに偽物の模倣品対策ラベルが貼付されている事が確認されたことを踏まえて新規ラベルの開発を進めた。次期ラベルメーカーの候補として、日本メーカー4社、米国メーカー1社の計5社を選定し機能・コスト・運用面を調査した結果、現行のラベルメーカーを選定することをUSGMC（米国ゴルフ用品協会）と合議した。告知活動としては、10月に現行ラベル使用メーカー27社に対して、ラベル変更について機能の違い、運用方法、価格等を含めてご案内し、全会員企業へはJGGAニュース11月号に掲載して告知した。その後2016年11月に最終仕様を確認し、12月には現行ラベルの最後の受注と新規ラベルの最初の受注を同時に行った。

運営面ではラベルメーカーとの交渉により、今後はユーザー企業への年2回（3月、9月）の発注予測数量の確認を行いながら、年4回（5月、8月、11月、2月）の発注後約2ヶ月での納品サイクルで運営することとし、これ迄以上にユーザー企業の便宜向上を図るとともに、価格は据え置きながらも運営費用の一部をJGGAの管理費用として捻出できる仕組みとした。

また、「模倣品対策ラベルリニューアルのご案内」のチラシ（A4版）を新たに作成し、3月のジャパンゴルフフェアで配布をスタートした。今後、模倣品対策ラベルの普及活動にこのチラシを活用していく予定。会員企業の中から、ゴルフクラブ以外の用品についても模倣品対策を要しており、JGGA全体でより効果的に取り組めないかという提案があり、模倣品ラベルに限らず、協力して対応する方法を検討していく。

(2) その他の活動

(2. 1) 模倣品対策セミナー開催

2017年3月24日に「ジャパンゴルフフェア2017」で一般ユーザーの皆様及びゴルフ用品業界の皆様に向けた「模倣品対策セミナー」を開催した。業界全体で模倣品クラブ対策の一環として、専門家の立場より講演していただき、今後の模倣品対策の一つの糧とした。当日は、経産省模倣品対策室の脇野俊二氏をお招きして、「1. 知的財産制度の概要」「2. 模倣品の被害状況」「3. 模倣品対策（権利者/消費者）」「4. 日本政府における取組み」について実例を踏まえた内容で約1時間の講演をしていただいた。尚、模倣品セミナーで使用された資料はGGAホームページ、「模倣品について」のコーナーの「模倣品対策ワーキンググループの主な活動」に掲載した。

(2. 2) 関連団体との協業

① USGMC (United States Golf Manufacturers Council) とのミーティング

2016年7月27日（於：Hilton Short Hills (NJ, USA)）、先方Grove委員長と模倣品対策担当のGingrich氏と模倣品ラベルに関する協業内容（範囲）について協議した。

次期ラベルのデザイン・機能はJGGA推奨の凸版柄の仕様を採用し、供給メーカーは凸版柄とすること、現行ラベルと同様にUSGMCとJGGAの両方のロゴをいれる事等を合議した。

2016年10月12日（於：東京ドームH）、模倣品担当Gingrich氏と今後のJGGAとUSGMCとの協業体制全般について再度確認した。また、凸版印刷のラベル工場を共に調査視察し理解を深めた。

②R & Aとのミーティング

2017年3月25日、ジャパンゴルフフェア会場でR & Aとのミーティングを行ない、2016年10月17日付のR & Aからのレター「パターを除くクラブの最大長の変更案」について意見交換した。この変更案については、同日午後で開催されたR & A用具規則フォーラムでも説明があり、現在未だ最終決定ではなく引き続きR & Aにて調査・検討を行っていく旨確認した。

4) 製造物責任法（PL法）に係る製品安全対策の推進

- ① 消費生活用製品の製品事故、製品苦情情報への対応
(一財)生活用品振興センター、(一財)製品安全協会より製品事故、製品苦情に関する情報提供や生活用品PLセンターインフォメーションなどの活用でそれぞれに連携を図る。
- ② ゴルフクラブ及びゴルフクラブシャフトの統一取扱い説明書の周知徹底と有償頒布を行った。
- ③ 団体PL保険契約(東京海上日動)
新規入会会員への紹介を継続し昨年より2社増加し15社と契約を更新した。

5) 物流の共同化に向けた研究（流通委員会）

ゴルフ用品業界の流通の効率化を諮り各社のコストダウン、並びに地球環境配慮の可能性を探るべく「共同物流（共同配送・共同倉庫）化」をテーマとして委員会での検討を開始した。

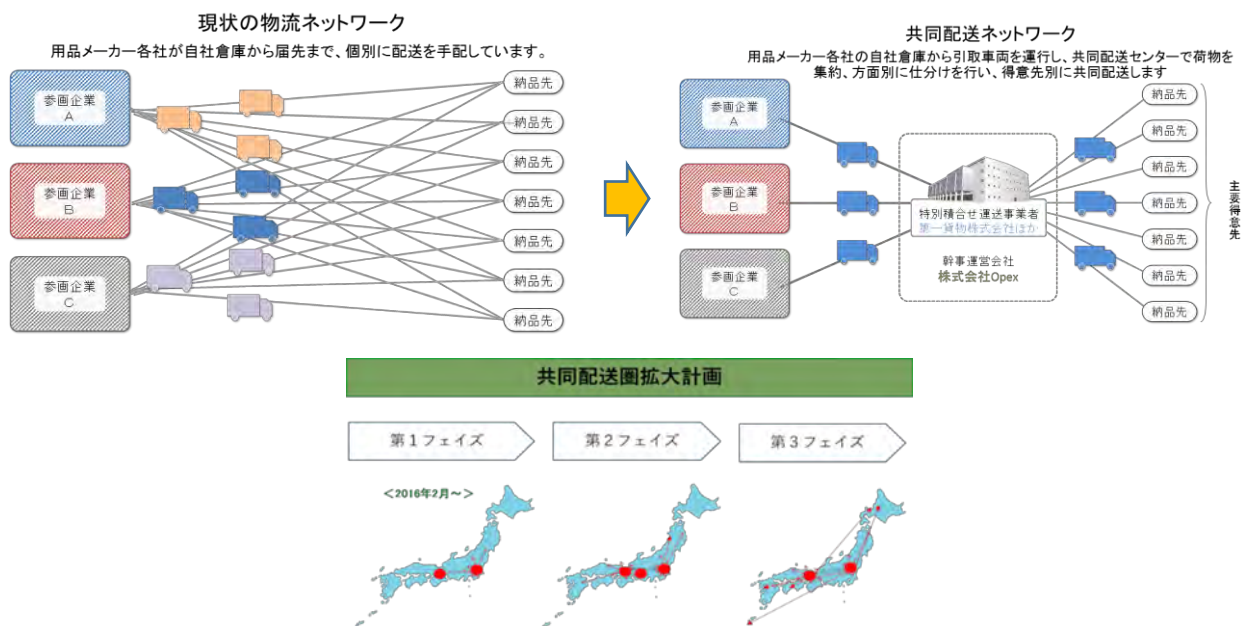
① 共同配送進捗報告

2016年2月から1社が利用し、9月にもう1社が利用を開始した。現在利用している会員企業は2社
物流コストは、共同配送便の活用により従来より 約▲20%を超えるコストの削減効果が表れている。
また、小売りサイドでは共配が進むことで今まで各社が個別バラバラに配送されていた為、店舗に於いては納品にかかる事務的な時間ロス、棚入れ、開梱等に係る人的確保など多くの課題が発生しているが、共配への参加企業が増え、纏めて店舗に納品されることで課題改善が図れるなど、共配による相乗効果は両社にとっても十分にその恩恵を享受できるものと考えられる。なお、共同配送の対象先は、現在は荷量の多い 関東1都6県の大手量販店27社の約630店舗に対して配送を行っており、今後関西圏から関東圏への共同配送も順次開始する計画である。

以下はその説明データである。

② 共同配送の仕組み

これまでメーカー各社が同じ得意先（小売店）に送っていた荷物を集約し、各店舗への配送を共同で行う仕組みで、JGGAではこの事業を「ゴルフ共配便」と命名しJGGA推奨事業としている。第一段階としてまずは出荷先を関東地区（1都6県）に地域を限定し、複数のメーカーの荷物量が多い量販店26社・約670店舗を対象として共同配送を実施している。
対象地区・店舗は順次拡大していく予定である。



※関東地区1都6県の量販店
舗を対象に
①関東地区参画メーカーを拡
大する
②関西地区参画メーカーを拡
大する

※関西地区量販店舗を対象
に
①関西地区参画メーカーを
拡大する
②関東地区参画メーカーを
拡大する

全国での共配開始

③コスト削減率は20%以上を想定。

(運賃は一個目400円、二個目以降は300円 関東地区倉庫発→関東小売店着の運賃)
「ゴルフ共配便」の大きな特徴は、専用開発した荷札発行システム(無料貸与)を導入することにより、『同じ店舗に出荷した一日の出荷数量を合算』し、複数個口が累積して安くなる料金システムである。

個数と運賃			「ゴルフ共配便」利用による削減効果									
個数が増えるほど安くなります			会社	月次出荷規模		個/件	現配送費(推測)		ゴルフ共配便		削減効果	
個口数	運賃計	平均単価		件数	個数		単価	金額	単価	金額	削減額	削減率
1	400	400	A社	400	480	1.2	500	240,000	385	184,800	55,200	23%
3	1,000	333	B社	1,000	1,500	1.5	470	705,000	370	555,000	150,000	21%
5	1,600	320	C社	2,000	3,400	1.7	460	1,564,000	359	1,220,600	343,400	22%
7	2,200	314	D社	4,000	7,200	1.8	440	3,168,000	350	2,520,000	648,000	20%
10	3,100	310										

設定条件⇒月20日稼働、共配対象店舗(26社:670店舗)、単位:円

単価:1個目=400円、2個目以降=300円

※注:重量が20kg・容積が5才(0.14m³)を超える大きな荷物は別途料金

④共同物流推進体制(幹事会社及び運送会社)

JGGA共同物流の推進を担っているのは(株)物流革命であり、その上で幹事会社を物流革命の関連会社の(株)OPEXに変更、実運送事業者は第一貨物(株)が配送を実施している。

稼働中の2社については大きなトラブルは無く概ね配達予定時間に着荷し順調な運用を実現している。

⑤流通委員会としての今後の計画に就いて

- 1) ゴルフ共同配送の今後の計画に就いての確認
 - 第1段階 関東発着に拠る共同配送を開始する
 - 第2段階 関西等地方発着に拠る配送の展開を図る
 - 第3段階 全国主要地区への配送の拡大を図る
 全国レベルでの共同配送の展開を行い会員企業の発展と地球温暖化の改善に取り組む。
- 2) 物流共同化が可能なものに就いての今後の検討
 - ①梱包資材に関する大きさなどの共通化とその後の共同発注について
 - ②輸送時に於ける返品対応に就いて
 - ③小売り複数店舗企業の店間移動について
 - ④物流倉庫の共同利用について
- ④ 報システムの共同化について

3. 需要開発事業

[1] ジャパンゴルフフェア2017の開催 (ゴルフフェア委員会・実行委員会)

基本方針

- ジャパンゴルフフェアは、日本のゴルフの活性化を最大の目標としつつ、さらに国際性を追求し、アジアを代表するインターナショナルなゴルフショーを目指す。
- ◇世界が注目するビッグマーケット、日本とアジアを中心としたゴルフ情報ターミナルとしての場。
 - ◇ゴルフビジネス実践の場
 - ◇ゴルフ産業分野間のコミュニケーションの場
 - ◇健全なゴルフ文化を育成し、ゴルファーを刺激する場
 - ◇社会貢献活動の場

1) 開催概要

名称 : 第51回ジャパンゴルフフェア2017 (51th JAPAN GOLF FAIR 2017)
 開催テーマ : ゴルフのすべてを見る、触れる。
 会期 : 2017年3月24日(金)~3月26日(日)3日間

開場時間 : 10:00~18:00 (最終日は17:00まで)
 会場 : パシフィコ横浜 展示ホール、アネックスホール
 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1
 主催 : 日本ゴルフ用品協会
 後援 : 経済産業省、横浜市、アメリカ大使館商務部、日本貿易振興機構 (ジェトロ)、
 日本ゴルフ協会、全日本ゴルフ練習場連盟、日本ゴルフ場経営者協会、
 日本パブリックゴルフ協会、日本プロゴルフ協会、日本ゴルフツアー機構、
 日本女子プロゴルフ協会、ゴルフ緑化促進会、日本ゴルフトーナメント振興協会、
 日本芝草研究開発機構、日本ゴルフジャーナリスト協会、
 ジャパンゴルフツアー選手会、日本ゴルフ関連団体協議会

JGF オフィシャルメディア : ジュピターゴルフネットワーク

入場料 : 無料

動員目標 : 60,000 名

企画 : 日本ゴルフ用品協会 ゴルフフェア委員会、ジャパンゴルフフェア 2017 実行委員会

運営 : ジャパンゴルフフェア運営事務局

2) 来場者データ

＜来場者数＞ ※上段：2017年 下段：2016年

	ビジネス関係者		一般来場者		報道関係者		合計	
	人数	前年比	人数	前年比	人数	前年比	人数	前年比
3月24日(金)	12,797	105.5%	14,702	106.5%	408	91.5%	27,907	105.8%
	12,129		13,901		446		26,376	
3月25日(土)	1,570	85.9%	16,433	88.7%	93	59.6%	18,096	88.3%
	1,828		18,521		158		20,505	
3月26日(日)	440	115.5%	9,701	112.8%	19	28.4%	10,160	112.3%
	381		8,598		67		9,046	
合計	14,807	103.3%	40,836	99.8%	520	77.7%	56,163	100.4%
	14,338		40,920		669		55,927	

※パーセンテージは前年比率

＜来場経験数＞

	ビジネス			一般		
	初回	2回以上	計	初回	2回以上	計
3月24日(金)	3,758 (4,058)	9,039 (8,071)	12,797 (12,129)	7,846 (8,254)	8,856 (7,547)	14,702 (13,801)
	29.4%	70.6%		53.4%	46.6%	
3月25日(土)	543 (512)	1,027 (1,316)	1,570 (1,828)	8,926 (7,881)	6,507 (10,690)	16,433 (18,521)
	34.6%	65.4%		60.4%	39.6%	
3月26日(日)	117 (53)	323 (328)	440 (381)	6,258 (3,690)	3,443 (4,938)	9,701 (8,598)
	26.8%	73.4%		64.5%	35.5%	
合計	4,418 (4,623)	10,389 (9,715)	14,807 (14,338)	24,030 (17,775)	16,806 (28,145)	40,836 (40,920)
	29.8%	70.2%		58.8%	41.2%	

※報道関係者は含まず

※()内は昨年の数字

出展社データ

出展カテゴリー	社 数	コマ数
Aタイプ	105 (95)	287 (366)
Bタイプ	40 (33)	51 (52)
展示試打タイプ	8 (8)	8 (8)
壁面展示タイプ	7 (6)	7 (6)
JGF練習場関連コーナー	9 (18)	31 (30)
関連団体	17 (12)	24 (40)
合計 (関連団体含む)	186 (172)	412 (502)

※海外出展社数・・・6ヶ国 21社 (25コマ)

アメリカ×2社、ノルウェー×1社、台湾×3社、香港×1社、中国×6社、韓国×8社

セレモニー

1. オープニングセレモニー

日時：3月24日(金) 9:30~10:00

場所：イベントステージ

主催者挨拶：日本ゴルフ用品協会 会長 馬場 宏之

祝辞：経済産業省 製造産業局 生活製品課 課長補佐 大滝 義彦 様

日本ゴルフ協会 会長 竹田 恒正 様

アメリカ合衆国総領事館 商務部 首席商務領事 ヘレン・ファン 様

開会宣言：ジャパンゴルフフェア2017実行委員会 委員長 勝俣 隆

出席者：27名

チャリティ及び協会支援活動

1. 入札型チャリティオークション

日時：会期中随時 ※JGF公式サイトでは2月17日(金)より開始

場所：展示ホールC ※会期前はJGF公式サイト上にて展開

内容：①JGF公式サイトより入札 ②会場で用紙に記入して入札

応募数合計：JGF公式サイト/272件 会場/525件 合計/797件

最終落札金額合計：1,878,283円 (昨年実績：1,892,792円)

<男子プロ>

応募数：JGF公式サイト/79件 会場/163件 合計242件

最終落札金額合計：672,503円 (昨年実績：883,328円)

最高落札：60,000円 (小田 孔明プロ/パター ※カバー付)

(時松 隆光プロ/パター ※カバー付)

商品提供：JGTOツアーメンバー 25名 56点

チャリティ先：JGTOを通じて高松宮妃癌研究基金

提供プロ：青木 功/池田 勇太/石川 遼/尾崎 直道/小田 孔明/片岡 大育/片山 晋呉/

倉本 昌弘/小平 智/近藤 共弘/芹澤 信雄/谷原 秀人/手嶋 多一/時松 隆光/

藤田 寛之/藤本 佳則/松村 道央/松山 英樹/丸山 大輔/宮里 優作/宮本 勝昌/

武藤 俊憲/矢野 東/山下 和宏/横田 真一 (50音順)

<女子プロ>

応募数：JGF公式サイト/202件 会場/236件 合計/438件

最終落札金額合計：1,205,780円 (昨年実績：1,009,464円)

最高落札：180,000円 (渡辺彩香プロ/キャディバッグ)

商品提供：LPGAツアーメンバー 21名 45点

チャリティ先：LPGAを通じて日本盲導犬協会

提供プロ：イ・ボミ/上田 桃子/大山 志保/柏原 明日架/菊地 絵理香/木戸 愛/

佐伯 三貴/ささき しょうこ/下川 めぐみ/全 美貞/鈴木 愛/成田 美寿々/

西山 ゆかり/原 江里菜/堀 琴音/藤田 光里/松森 彩夏/宮里 藍/森田 遥/

葎葉 ルミ／渡辺 彩香（50音順）

2. 出展社によるブース販売

活動単位： 出展社／33社、関連団体／1 団体

売 上：出展社／4,454,158円、関連団体／280,300円

合 計／4,796,458円 協力金合計／480,945円（昨年実績：1,512,078円）

※ゴルフ活性化活動の協力金として売り上げの10%以上を設定

出展社：

アールイー／アイゴルフ／アウタートップ／アクシネットジャパン／AZASGOLF／
亜聖／ウィルトラスト／OUUL／オリエンタルシューズ／ガレリア／ココミィ／コラント
ッテ／ゴルフダイジェスト／コンフォート・ゴトウ／ジョイライフ／DMMPデザイン／
デザインチューニング／トゥモローカレッジ／トップ貿易／NICKENTGOLF／ノースショ
ア／阪神交易／ピレティジャパン／ファイテン／フィールズパートナーズ／BRANCO／
ベノック／ポートウィック／マインド／メルセデス・ベンツ日本／ライト（50音順）

関連団体：JGTO

3. トーナメントグッズチャリティ販売

日 時： 会期中随時 場 所： 展示ホールC 主催者企画コーナー

内 容： 国内男女トーナメントオリジナルグッズ、

協 力： 添付資料①、②参照

チャリティ売上： 459,900 円（昨年実績：406,000 円）

チャリティ先：NPO法人日本ジュニアゴルフファア育成協議会

主催者企画

1. GDO 総合試打コーナー

日 時： 会期中随時

場 所： 展示ホールA 試打席オープンタイプ

特別協賛： ゴルフダイジェスト・オンライン、GPRO、ブリチストンスポーツ

特別協力： プロツアー・スポーツ クラブステーション

参 加 費： 2,000円

募集定員： 301名

参加者：事前予約数・・・167名 当日受付数・・・81名 最終試打人数・・・248名

備 考： 初日にマシントラブルが発生し、復旧に概ね半日ほど時間がかかり、事前申込者のキャンセルが発生した

2. JGF販売コーナー

販 売 社： 有賀園ゴルフ、二木ゴルフ

日 時： 会期中随時

場 所： アネックスホール F202、F204

販売実績： 合計 11,300,000円

3. グルメコーナー

日 時： 会期中随時

場 所： 展示ホールC 「グルメコーナー」

内 容： 出店店舗

崎陽軒シウマイ関連商品、十勝豚丼、新潟タレかつ丼、焼き小籠包、広島焼き、

しじみゴールド、伝説のキーマドライ

販売実績： ・崎陽軒：912点

・ご当地グルメ：5,949食

合計 5,445,900円

4. ファミリーゴルフ広場

日 時： 会期中随時

場 所： 展示ホールC 「主催者企画・関連団体コーナー」

運 営： JGC

協 賛： フローベル

5. ゴルフ場&地域観光・物産コーナー

日 時： 会期中随時

場 所： 展示ホールC

出展料：100,000円／1社

スペース：72㎡（12m×6m）
※1地域あたり 15㎡
出展：北海道、福島・しらかわ、御殿場・小山
販売実績：合計 133,328円

6. 出展社コミュニケーションルーム

日時：会期中随時
場所：展示ホールB「出展社コミュニケーションルーム」

7. 商談コーナー

日時：会期中随時
場所：展示ホールB「商談コーナー」
備考：最終日の日曜日は飲食コーナーとしても機能させた

主催者イベント

1. チャレンジコーナー

日時：会期中随時
場所：展示ホールC

協賛：
・マシン：ディテクト(ドラコン・ニアピンチャレンジ)、
ダーツライブ(パターチャレンジ)
・クラブ・シューズ：キャロウェイ/ミズノ/ヨネックス
・ボール：ブリヂストンスポーツ

(協賛社は社名を各コーナーに設置される「協賛看板」、「JGF公式サイト」で紹介)

賞品：アクシネットジャパン/ガレリア/キャロウェイゴルフ/Golf SMS (C&F)
/ダイドードリンコ/ダンロップスポーツ/DMMPデザイン/デサント/
トゥモローカレッジ/ニホゴルフ/有賀園/藤倉ゴム工業/ブリヂストン
スポーツ/本間ゴルフ/ミズノ/ヤマト徽章/ヨネックス/レベルコ/ボーイズ
(協賛社は社名を「ガイドブック」及び各コーナーに設置する「協賛看板」、
「JGF公式サイト」で紹介)

<イベントパスポート>

参加費：1,000円
売上：313枚 / 313,000円

<単独イベント参加>

参加費：500円

●ドラコンチャレンジ ●ニアピンチャレンジ ●パターチャレンジ

参加者：304名 参加者：251名 参加者：382名
売上：152,000円 売上：125,500円 売上：191,000円

チャレンジコーナー特別企画

<プロにチャレンジ>

実施時間：①12：30～13：30 ②15：30～16：30(最終日は15：00～16：00)

参加費：単独参加1,000円(イベントパスポート購入者：500円)

募集定員：42名

参加者：21名 / 14,000円

2. ゴルフフェア見学ガイドツアー

主催：ジャパンゴルフフェア2017実行委員会

開催日：3月25日(土)・26日(日)

実施時間：各日 11：00～12：00 / 14：00～15：00

実施会場：ジャパンゴルフフェア2017会場内

テーマ：2017年、今年のゴルフギアトレンドを知る！

申込受付：ネットで事前申込み

参加費：2,000円/1回 ※事前振込

募集定員：15名/1回 ※最少催行人数8名

ガイド・参加者：

25日(土) 11：00～ 永井 延宏プロ 13名 / 14：00～ 鹿又 芳典氏 18名

26日(日) 11：00～ 鶴原 弘高氏 12名 / 14：00～ 関 雅史プロ 12名

3. 芹澤信雄プロ・谷 繁 前中日ドラゴンズ監督によるトークセッション

開催日時：3月26日（日）13：30～15：00
実施会場：アネックスホール F202
申込受付：ネットで事前申込み
参加費：2,000円 ※事前振込
募集定員：50名
参加者：43名（事前申込：38名、当日申込：5名）

ステージイベント

1. ファッションステージ
タイトル：OAKLEY Presents「ファッション&トークショー」
主催：OAKLEY
日時：3月25日（土）13：00～13：40
場所：展示ホールD「イベントステージ」
タイトル：LANVIN Presents「内藤雄士スペシャル対談 ツアープロコーチの選ぶもの」
主催：LANVIN
日時：3月26日（日）11：00～11：50
場所：展示ホールD「イベントステージ」
EVEN・楽園ゴルフ「ゴルフアパレル総選挙&抽選会」
主催：樫出版
日時：3月25日（土）16：00～16：40
26日（日）15：30～16：10
場所：展示ホールD「イベントステージ」
2. 第5回日本プロゴルフ殿堂入り式典
主催：日本プロゴルフ殿堂
日時：3月24日（金）13：30～
場所：展示ホールD「イベントステージ」
顕彰者：陳清水氏、河野高明氏、清元登子氏、島田幸作氏、村上隆氏、涂阿玉氏
その他：式典終了後、15：00より展示ホール海側2F「ハーバーラウンジA」にて
殿堂入り披露パーティを実施

その他

1. 地クラブコーナー
日時：会期中随時
場所：展示ホールD「地クラブコーナー」
主催：ゴルフ用品界社 運営管理：OG
参加企業：日幸物産、共栄ゴルフ工業、カナモリ ゴリラゴルフ事業部、マスターズ、
中条・カムイ
2. ゴルフフィットネスコーナー
日時：会期中随時
場所：展示ホールB「ゴルフフィットネスコーナー」
主催：日本ゴルフフィットネス協会
参加者：419名（24日（金）：90名、25日（土）：158名、26日（日）：171名）
3. JGA大抽選会
日時：会期中随時
場所：展示ホールD出入口横 コンコース
主催：ゴルフスタジアム
内容：「100組400名をゴルフ場へご招待」とした大抽選会
参加者：9,652名
当選者：抽選会当選者 92組368名+LINE当選者36組144名 合計：128組512名
4. 会場運営におけるPGAスタッフ派遣
日程：2017年 3月23日（木）～26日（日）
時間：各日9：30～18：30
業務種類：3種類
スタッフ数：13名
配置、人数内訳 試打オープン集球／2名、総合試打コーナー／5名、チャレンジコーナー／6名

5. お土産
会場使用数：65個
内容：崎陽軒ギフトセット（シウマイ+サブレ）、ガイドブック、ゴルフスケジュール、
JGF販売コーナーチラシ

各種セミナー

1. ゴルフ用品セミナー「世界のゴルフ用品市場規模推移とその傾向」
主催：日本ゴルフ用品協会
日時：3月24日(金) 12:00 ~ 13:00 場所：アネックスホール F206
講師：ゴルフデータテック社、矢野経済研究所
参加費：会員 無料/非会員 1,000円
参加者：77名
2. GMACゴルフ市場活性化セミナー
ゴルフ業界は、「スポーツの成長産業化」にどの様に対応するのか！！」
主催：ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)
日時：3月24日(金) 13:20 ~ 15:20 場所：アネックスホール F202
参加費：会員 4,000円/非会員 5,000円/報道関係者 無料
参加者：131名
3. 模倣品対策セミナー
模倣品被害の現状と傾向 ・ 模倣品対策の必要性 ・ 日本政府における模倣品対策
主催：日本ゴルフ用品協会
日時：3月24日(金) 13:30 ~ 14:30 場所：アネックスホール F206
講師：経済産業省製造産業局模倣品対策室
参加費：無料
参加者：32名
4. JGRAゴルフ練習場ビジネスセミナー
練習場ビジネスを取り巻く状況分析と対策
主催：全日本ゴルフ練習場連盟
日時：3月24日(金) 15:30~17:00 場所：アネックスホール F202
参加費：JGRA会員 2,000円/非会員 3,000円
参加者：80名
5. JGTAゴルフツーリズム推進セミナー
世界のゴルフツーリズムの現状および受け地にもたらす経済効果
主催：日本ゴルフツーリズム推進協会
日時：3月24日(金) 15:30 ~ 17:30 場所：アネックスホール F202
参加費：2,000円
参加者：46名
6. R&A用具規則フォーラム
用具規則に関する最新の情報や動向についてのプレゼンテーションと質疑応答
主催：日本ゴルフ用品協会
日時：3月25日(土) 13:00 ~ 14:00 場所：アネックスホール F204
講師：R&Aディレクター スティーブ・オットー
参加費：会員 無料/非会員 2,000円
参加者：58名
7. インバウンド・ゴルフツーリズムセミナー
ゴルフツーリズムの魅力と可能性
主催：みえゴルフツーリズム推進協会、三重県
日時：3月25日(土) 13:00~15:00 場所：アネックスホール F206
基調講演： Arne J. Vigstad氏 (ノルウェー/CEO /1Golf)
ゲストスピーカー：Kullatorn Mesommonta氏 (タイ/支配人/Burapha Golf Club)
参加費：無料
参加者：60名
8. 大学ゴルフ授業シンポジウム兼 第5回大学ゴルフ授業研究会
大学の体育授業としてのゴルフについて各大学の事例を踏まえた検討

主催：大学ゴルフ授業研究会

日時：3月25日（土）13:00～16:00 場所：アネックスホール F202

参加費：無料

主催者ブース展開

1. 日本ゴルフ用品協会ブース

日時：会期中随時

場所：展示ホールB/C「主催者企画・関連団体コーナー」

内容：JGGA/パネル展示、JGGA入会相談窓口、
総合インフォメーション、インダストリカップ開催報告・開催結果パネル展示
ゴルフマジコーナー、楽ゴルフコーナー

関連団体ブース展開

1. JGRAゴルフ練習場関連コーナー

日時：会期中随時

場所：展示ホールB/C「主催者企画・関連団体コーナー」

内容：出展各社の展示・PR/事業活動紹介、一部販売行為あり

出展社：オニット/加圧ゴルフ推進機構/神戸ウェルネスサイエンス/コスモ・イーシー
/ゴルフリンクス/是吉興業/サイパンラオラバイゴルフ&リゾート/シーデ
ィアイ/スポーツマインド/創機工業/日本シー・エー・ディー/ NOUEN /
フローベル/マルマントラベル/湯河原カンツリー倶楽部/ライザップ（50音順）

2. 4団体合同ブース

日時：会期中随時

場所：展示ホールB/C「主催者企画・関連団体コーナー」

内容：団体各ブース（JGA、JGTO、PGA、LPGA、特設ステージ、
共有試打席（1打席）

JGA /オフィシャルグッズ、ルールブックの販売

PGA /オフィシャルグッズ販売、レッスン会

LPGA/オフィシャルグッズ販売、レッスン会、事業活動紹介

JGTO/オフィシャルグッズ販売、

プロによるトークショー・サイン会・撮影会、レッスン会

特設ステージ/4団体 メジャートーナメント優勝カップ展示

3. PGSブース

日時：会期中随時

場所：展示ホールB/C「主催者企画・関連団体コーナー」

内容：活動内容のパネル展示

4. JGCブース

日時：会期中随時

場所：展示ホールB/C「主催者企画・関連団体コーナー」

内容：ジュニアゴルファーに関する情報発信と収集、ジュニアゴルファー育成相談
パンフレット配布、活動紹介、パネル展示、スナッグゴルフ体験

5. GTPAブース

日時：会期中随時

場所：展示ホールB/C「主催者企画・関連団体コーナー」

内容：男女トーナメントのポスターの紹介、アンケート抽選会

6. ウィズ・エイジングゴルフ協議会ブース（KGA）

日時：会期中随時

場所：展示ホールB/C「主催者企画・関連団体コーナー」

内容：活動内容のパネル展示

7. ジュピターゴルフネットワーク

場所：展示ホールC Aタイプ2コマ出展

60インチモニター/レジストレーション（2台）、グルメコーナー（1台）

内容：モニターによるフェアでの主なイベント内容の紹介、
ゴルフネットワークの番組紹介を放映

※サテライトスタジオにて番組撮影を実施

8. 日本プロゴルフ殿堂ブース
日 時： 会期中随時
場 所： アトリウム
内 容： 年表パネル紹介、殿堂入り顕彰者パネル紹介、プレザー展示

PGA関連イベント

1. 2017PGAティーチングプロアワード
主 催：日本プロゴルフ協会
- 最終選考会
日 時： 3月25日（土）10：30～12：30
場 所： アネックスホールF202
 - 表彰式
日 時： 3月25日（土）14：00～
場 所： 展示ホールB 関連団体コーナー特設ステージ

PR

<事前来場促進PR>

1. メールマガジン「Golfer's Cafe」
配信期間：2016年3月～2017年3月
配信回数：18回（昨年実績：8回）
内 容：ジャパンゴルフフェア開催案内、主催者・出展社イベント、
 ゴルフアーズアンケートWEB版、
 プレゼント企画（トーナメント観戦チケット×2回、写真コンテスト、年間特集
 「横浜情報インデックス 全9回」
2. 出展社最新情報リンクバナー集
掲載社数：58社（昨年実績：48社）
3. 横浜市ゴルフ協会会員へのDM（専用チラシを会報誌送付時に同梱）
チラシ制作・送付数：3,000枚
4. フェアオフィシャルチラシ配布
チラシ制作数：50,000枚（初回40,000枚＋追加10,000枚）
配布協力：
 - ・主催、関連団体 …… 5団体 計：10,400枚
 - ※JGRAからの神奈川県内練習場宛チラシ送付：28施設、1,340枚分含む
 - ・出展企業各社 …… 59社・132ヶ所 計：29,800枚
 - ・パシフィコ横浜 …… 99ヶ所 計：1,500枚
 - ・その他協力会社 …… 3社・52ヶ所 計：3,750枚
5. フェア来場促進バナー掲載
バナー掲載社：11社
6. 新聞記事掲載 ※添付資料⑤～⑦ 参照
 - ・3月 7日（火） 毎日新聞 神奈川版 朝刊
 - ・3月10日（金） 神奈川新聞 朝刊
 - ・3月25日（土） 朝日新聞 神奈川版 朝刊
7. ゴルフネットワークPR
放送内スポットCM
 - ・期 間：3月14日（火）～25日（土）
 - ・本 数：通常放送94本（通常放送）、175本（PC/アプリ）ゴルフネットワークマガジン記事掲載
 - ・期 間：3月10日（金）～
 - ・閲覧数：2,561 ※3月29日（水）現在「ゴルフネットワークプラス」アプリ トップ動画 掲載
 - ・期 間：3月14日（火）～20日（月）
 - ・再生回数：37,574回
8. ゴルフダイジェスト記事掲載 ※添付資料⑧ 参照
 - ・4月4日号掲載（3月21日（火）発売）
9. EVEN 記事掲載 4C/2P/2回 ※添付資料⑩ 参照

- 3月号掲載（2月4日（土）発売）
- 4月号掲載（3月4日（土）発売）
- 10. AFFLUENT（発行：株ぱど）記事掲載 ※添付資料⑪ 参照
 - 3月号掲載
- 11. IBC岩手放送 ラジオ・電話取材
 - 3月4日放送

<事後PR>

1. ゴルフダイジェスト記事掲載 ※添付資料⑨ 参照
 - 4月11日号掲載（3月28日（火）発売）
2. WEB『日本ゴルフフィットネス協会 サイト』NEWS記事掲載 ※添付資料⑫ 参照
3. WEB『パーゴルフプラス バーチャルJGFツアー』掲載 ※添付資料⑬ 参照
 - <http://www.pargolf.co.jp/special/jgf2017/index.html>
 - 360° VIRTUAL TOUR • SPECIAL CONTENTS
 - COMPANION GALLEY
4. WEB『みんなのゴルフダイジェスト』記事掲載 ※添付資料⑭ 参照
 - http://www.golfdigest-minna.jp/_ct/17055502
 - 3月26日掲載
5. WEB ALBA .Net『記者の渾身レポート』記事掲載 ※添付資料⑮ 参照
 - <http://www.alba.co.jp/gear/column/title?id=60>
 - 3月24日・25日掲載
6. WEB ALBA.Netプレゼント企画『QP&こころの おねだりゴルフフェア』記事掲載
 - ※添付資料⑯ 参照
 - http://www.alba.co.jp/ad/1703_onedarijgf/
 - 募集期間：4月11日（火）～5月9日（火）
7. IBC岩手放送 ラジオ 会場取材
 - 4月 8日放送
 - 4月15日放送
8. スポーツ専門紙掲載
 - スポーツフロンティ 4月 3日(月)発行 ※添付資料⑰ 参照
 - スポーツ産業新報 4月 10日(月)発行 ※添付資料⑱ 参照
9. ゴルフマネジメント 記事掲載
 - 5月号掲載（4月15日（土）発売） ※添付資料⑲～㉑ 参照
10. スポーツ用品ジャーナル記事掲載
 - 5月号掲載（4月28日(金)発行）

プロゴルファー来場データ（順不同）

3月24日（金）	3月25日（土）	3月26日（日）
宮本 勝昌	宮本 勝昌	宮本 勝昌
堀川 未来夢	宮里 聖志	藤田 寛之
重永 亜斗夢	深堀 圭一郎	近藤 共弘
米山 剛	丸山 茂樹	片岡 大育
関 雅史	米山 剛	南出 仁寛
石渡 俊彦	関 雅史	芹沢 信雄
山田 好美	古閑 美保	井上 莉花
武市 悦宏	大堀 裕次郎	米山 剛
金谷 多一郎	香妻 陣一郎	関 雅史
	山田 好美	中嶋 常幸
	武市 悦宏	山田 好美
	井戸木 鴻樹	武市 悦宏
	金谷 多一郎	井戸木 鴻樹
		金谷 多一郎

[2]ペアスクランブルゴルフ大会の開催（支部実行委員会）

平成28年度は3支部でペアスクランブルゴルフ大会を開催した。

（1）東日本支部

開催日時	平成28年7月18日（祝月）				
開催場所	東我孫子カントリークラブ（千葉県我孫子市）				
主催	日本ゴルフ用品協会 活性化委員会				
参加者	50チーム100名（内女性は41名）				
競技方法	ペア・スクランブル方式によるダブルペリア戦				
結果	スコアは驚くほどのハイスコア続出でアンダーパーが14チームとなった				
優勝	とし&りか	グロス67	HDCP +2.4	ネット69.4	
2位	TEAM SCRAMBLE	グロス62	HDCP +8.4	ネット70.4	
3位	EAM SCRAMBLE	グロス67	HDCP +3.6	ネット70.6	

以下飛び賞で表彰

◇バックパネル前で各チームの写真を撮影しベストドレッサー賞を決定した

ベストドレッサー賞は親子「シバチチ」の親子チーム

成績発表の後、成績上位者から並べられた賞品を選別して受賞して貰った。

◇賞品協賛社 13社（順不同）

二木ゴルフ、ライト、ブロッサム、ダンロップスポーツ、キャスコ、山本光学、デサント、ミズノ、マルマン、キャロウェイゴルフ、ブリヂストンスポーツ、テラーメイドゴルフ、アクシネットジャパンインク

（2）中部日本支部

開催日時 平成28年年8月22日（月）

開催場所 緑が丘カントリークラブ（名古屋市守山区）

主催 日本ゴルフ用品協会 中部支部
協力 カジュアルゴルフ(名古屋)
参加者 80 チーム 160 名 (うち女性 63 名)
競技方法 前半 9 ホールのスコアによるペア・スクランブル方式によるダブルペリア戦

◇結果 優勝 グロス 68 HDCP-1.2 ネット 69.2
2位 グロス 71 HDCP-1.2 ネット 69.8
3位 グロス 71 HDCP-1.2 ネット 69.8

以下 飛び賞で表彰

◇スタート前に練習場でクラブの試打会、練習グリーンではパターの試打会を行った。

メーカー 5 社による試打会には、92 名が参加。

前半 9 ホールのスコアによる競技のため、18 ホール終了時には成績も出揃っており、180 名の参加にもかかわらず午後 5 時には後片付けも含めて、すべて終了をした。

◇賞品協賛社 16 社 (順不同)

マルマン、ダンロップスポーツ、キャスコ、ヨネックス、ミズノ、スターゴルフ、レベルコ、デサント、キャロウェイゴルフ、ブリヂストンスポーツ、テラーメイドゴルフ、本間ゴルフ、ゴルフショップかとう、アクシネットジャパンインク、プロギア、オラシオン

(3) 西日本支部

開催日 平成 28 年 7 月 28 日 (木)
開催場所 よみうりゴルフウエストコース (兵庫県神戸市)
参加者数 50 ペア 100 名 (女性 31 名)
成績結果 【上位 3 チーム】

順位	チーム	GROSS	HDCP	NET
優勝	チーム KUMA	75	6.0	69.0
準優勝	アルバトロス	70	0.0	70.0
第 3 位	泉州 bogeys	75	4.8	70.2

以下飛び賞で表彰

*ベストドレッサー賞 : 「あつえみ」 ペア

【大会経過など】

- ・女性の参加者は全体の約 30% (前回は 40%)。
- ・参加 50 ペアの内、16 ペアがアンダーパーとなった。
- ・スクランブル大会ルールにより「池に入れてもパーだった」「いままで経験したことのない良いスコアでプレーできた」と好評だった。

◇賞品協賛社 12 社 (順不同、)

ヨネックス、朝日ゴルフ用品、ダンロップ、ブリヂストン、ミズノ、マルマン、デサント、グローブライド、マスターズ、キャロウェイ、キャスコ、よみうりゴルフウエストコース

【3】 インダストリーカップの開催

ゴルフ業界に関わるものが一同に集い、自らゴルフのプレーを率先しておこない業界内の活力と活性化に繋げる為に、「ジャパンインダストリーカップ」として東日本大震災後の 2011 年より開催しており、平成 28 年も東日本支部、西日本支部、中部日本支部の 3 か所で開催した。

(1) 第 6 回インダストリーカップ 2016 (ゴルフ関連企業対抗ゴルフ選手権)

開催日：平成28年10月18日（火）

開催場所：茨城ゴルフ・クラブ（茨城県つくばみらい市）

参加チーム人数：男子スクラッチ部門（12チーム47名）
：女子スクラッチ部門（10チーム20名）
：アンダーハンディ部門（26チーム104名）
合計（48チーム171名）参加 企業25社 団体2団体

・成績 男子スクラッチ部門団体

優勝 フォーティーン 222
2位 ダンロップスポーツ 230
3位 ピンゴルフジャパン 231

女子スクラッチ部門団体

優勝 フォーティーン 69
2位 ヨネックス 73
3位 二木ゴルフ 76

男子スクラッチ部門個人

優勝 ヤマハ 70
2位 フォーティーン 70
3位 ダンロップスポーツ 73

アンダーハンディ部門

優勝 ダンロップスポーツ 215.6
2位 フォーティーン 215.8
3位 ヨネックスA 215.8

(2) 第5回中部インダストリーカップ

開催日：平成28年10月4日（火）

開催場所：涼仙ゴルフ倶楽部（三重県いなべ市）

参加人数：16組 32名（協会会員11組 関連団体他5組）

団体戦成績	団体名（チーム名）	OUT	IN	TOTAL
1位	マルマン	35	34	69
2位	涼仙ゴルフ倶楽部	35	35	70
3位	キャロウェイゴルフ	36	34	70

(3) 第5回西日本インダストリーカップ2016（西日本企業ゴルフ大会）

開催日：平成28年9月13日（火）

開催場所：六甲国際ゴルフ倶楽部（兵庫県神戸市）

参加人数：22社 26チーム 52名

成績結果（上位3チーム）

<アンダーハンディ部門>

順位	チーム	POINT 計
優勝	アシックスジャパン	145.4
準優勝	ヨネックス	145.8
第3位	ミズノ	147.2

<スクラッチ部門>

順位	チーム	GROSS 計
優勝	R E V E	155
準優勝	藤倉ゴム工業	157
第3位	ダンロップスポーツ	160

[4] 関連団体に対する協力事業

(1) 「第84回日本プロゴルフ選手権大会」に協力団体として参画した

開催日：平成28年7月7日（木）～10日（日）

開催場所：北海道クラシックゴルフクラブ（北海道勇払郡安平町）

主催：（公社）日本プロゴルフ協会

来場ギャラリー数 7,365人

※JGGAギャラリーサービス企画

*販売ブース出店3社 ゼビオ,ピンゴルフジャパン,ブリヂストンスポーツ

*優勝者当てクイズ 投票総数 877人 *スタンプラリー 参加者数 272人

※賞品協賛社(順不同)

◇優勝者当てクイズ 18社

ブリヂストンスポーツ(株)、アキラプロダクツ(株)、(株)二木ゴルフ、(株)キャスコ、ゼビオ(株)、(株)プロギア、朝日ゴルフ用品(株)、山本光学(株)、キャロウェイゴルフ(株)、ミズノ(株)、ヨネックス(株)、(株)ダンロップスポーツマーケティング、(株)フォーティーン、(株)デザート、ヤマハ(株)、ヤマト徽章(株)、アクシネットジャパンインク、テラーメイド(株) 以上

◇スタンプラリー 12社

ブリヂストンスポーツ(株)、(株)二木ゴルフ、(株)キャスコ、ゼビオ(株)、(株)マスターズ、山本光学(株)、ミズノ(株)、(株)ダンロップスポーツマーケティング、(株)フォーティーン、ヤマハ(株)、アクシネットジャパンインク、テラーメイド(株) 以上

(3) 「2016PGA フィランソロピー障害者ゴルフ大会」に賞品の提供と運営を手伝った。

開催日：平成28年10月4日（火）

開催場所：若洲ゴルフリンクス（東京都江東区）

主催：（公社）日本プロゴルフ協会

参加者数： 108名

◇賞品協賛社：22社（50音順）

アキラプロダクツ、朝日ゴルフ用品、アシックスジャパン、キャロウェイゴルフ、キャスコ、グローブライド、ゴルフ・ドゥ、ダンロップスポーツマーケティング、デザート、ナイキジャパン、二木ゴルフ、ピンゴルフジャパン、藤倉ゴム、ブロッサム、ブリヂストンスポーツ、マスターズ、ミズノ、ヤマト徽章、ヤマニ、山本光学、ライト、ヨネックス

[5] 関連団体との協調事業

1) ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の活動

「ゴルフ市場活性化委員会」は当協会、(公財)日本ゴルフ協会、(一社)日本ゴルフ場経営者協会(公社)日本パブリックゴルフ協会、(公社)全日本ゴルフ練習場連盟、日本ゴルフジャーナリスト協会の6つの団体から構成され、各団体が連携し、各団体の持つ機能を融合させ、新たなゴルフ需要創造とゴルフの健全成長に向けた様々な取り組みを推進すべく、「はじめよう、続けよう、

「もっとゴルフを」をスローガンに2004年11月より活動をしている。

(1) 2016年の活動報告

1) ゴルマジの件(リクルートライフスタイル)

3期目の状況報告(2/20 現在)

ゴルフ場 158 ヶ所、練習場 240 ヶ所

会員数 25,057 人(最終見込み 29,000 名) 昨年比全体で約 1.6 倍

クーポン発行数 39,028 (ゴルフ場 2,925、練習場 36,283) 最終 45,000 昨年比約 1.5 倍

昨年のスタート時から同日数経過時点での比較

第4期計画 8項目の改善点を実施し年度初めの4/3～開始予定。大体連とも連携する。

2) 楽ゴルフの件(楽天)

GORAの利用データからも20代の参加は少なめである事の対策としてゴルフ未経験者を応援してゴルフ活性化に寄与する目的で実施している。2016年実績は以下の通り。

① 楽ゴルフクーポン(4,000円の割引券)は付与人数10,731人、利用人数は累計で4,278人

② 楽ゴルフプラン 公開コース260コースでプレー人数は累計13,557人

③ 楽ゴルフ練習場クーポンは公開練習場340施設で利用者は累計3,881人

④ 楽ゴルフレンタルクラブは利用者数15施設で利用可能 累計2,103人

サービス利用人数は2年目で大きく増加、更に利用できるゴルフ場、練習場施設の拡大を図る。

3) 大学のゴルフ授業への協力

全国に有る782の大学の内体育の授業で「ゴルフ授業」を導入しているのは約580

そのうちコースラウンドまで行うのは約50のみ、500強はグラウンドと体育館での授業という状況

6月末に全国大学体育連合と産学連携を開始以来、NGKによる「Gちゃれ」の実施サポートやPGAによる正課ゴルフ授業の実施、JGGAに拠る授業用ゴルフクラブの提供など多くの協力をしている。

4) 「Gちゃれ」の開催と今後の計画

① 「武庫女Gちゃれ」2016年12月26日(月) 有馬カンツリー倶楽部(兵庫県)

参加は武庫川女子大学の学生16名、他にG業界関係者、他大学の教員を含め30名が見学。

来年度は甲南大学が正規授業の一部としてGちゃれを計画している。

② 第7,8回「Gちゃれ」は2017年1月18日(火)、19日(水)にGMG八王子CCで開催した。

武蔵美大学の他に学習院、中央、明治大学の学生も参加し2日間で33名(男子14、女子19)。

参加した学生は「楽しさ」、「ゴルフへの興味」、「継続意欲」などについてポジティブな回答をしている。

2、活性化委員会の活動

1) ゴルフクラブの提供

JGGAでは大学授業で使われている古く、傷んだゴルフクラブの更新要望に応える為に、各大学授業教師からの要望に基づき8月～3月までに27大学へ672本を配布した。

今回の大学側への授業用ゴルフクラブの提供に協力頂いたクラブメーカーは16社

その結果3月10日時点での今後の提供可能本数(1,473本)の明細は以下の通り。

	ドライバー	FW	7番アイアン	ショートアイアン(8番以下)	女性用ドライバー	女性用ウッド(ドライバー以外)	女性用7番アイアン	女性用ショートアイアン(8番以下)	左用ドライバー	左用ウッド	左用アイアン	Total
3/6 現在在庫状況	159	221	785	75	18	49	100	0	20	46		1473

提供メーカー名(16社)

ヨネックス、キャスコ、フォーティーン、ピンゴルフジャパン、ヤマハ、本間ゴルフ、キャロウェイゴルフ、ブリヂストンスポーツ、テラーメイドゴルフ、ミズノ、マルマン、アクシネットジャパンインク、ダンロップスポーツ、アキラプロダクツ、朝日ゴルフ用品、プロギア（順不同）

★関西市場活性化委員会(関西 GMAC)

(参加団体) 関西ゴルフ連盟、ゴルフ場経営者協会、関西ゴルフ練習場連盟、パブリックゴルフ協会、ゴルフ用品協会西日本支部

- ・関西ゴルフ振興・初心者スクール（参画練習場122場）

平成28年度の参加者数は10,586名（目標10,000名）で昨対132%。平成24年からの累計23,181名となった。参加者の男女比は概ね半々。年代別では20代～50代それぞれ約25%ずつとなっている。また卒業生の約20%がその練習場のスクールに入っており新規ゴルファーの創出に寄与している。

- ・デビューコース参加者156名、115切りチャレンジゴルフ136名。

ペア・スクランブルゴルフ大会は7会場260名の参加となった（いずれもKGU主催）。

来年度もこれらの活動を継続することで着実に成果を出していく。

- ・また平成29年度は「ペア・スクランブルゴルフ大会」の推進に力を入れて 各団体協力して取り組んでいく予定。

(2) ゴルフ市場活性化セミナーの開催

ゴルフ市場活性化委員会の主催による第12回目の活性化セミナーが第51回ジャパンゴルフフェア2017の初日に以下の内容で開催された。

「第51回ジャパンゴルフフェア2017 市場活性化セミナー報告」

- ・日 時 平成29年3月24日（金）13:20～15:20 アネックスホールF202
- ・タイトル 「ゴルフ業界は、「スポーツの成長産業化」にどの様に対応するのか！！」
- ・主 催 ゴルフ市場活性化委員会構成6団体
- ・参加費 会員4,000円 非会員5,000円
- ・参加人数 131名(当日受付 15名)

団体別 JGA 6名、PGS 11名、JGRA 27名、NGK 40名、JGGA 9名、JGJA 3名、一般 22名、報道他 13名

ゴルフ業界は、「スポーツの成長産業化」にどの様に対応するのか！！

【第1部】 基調講演：「スポーツの成長産業化に向けて」

スポーツ庁参事官

【第2部】 パネルディスカッション

国の政策、ゴルフ産業への期待に、ゴルフ業界はどのように対応するのか？
具体的施策や方向性をパネルディスカッションにより紹介する。

(主な内容)

- 「大学のゴルフ授業」充実に向けた産学連携の成果と今後の展開ビジョン」
- 「他産業（健康、食、観光、ファッション等）との融合による新ビジネスの創出」
- 「地方公共団体・地域産業等との連携による地域活性化とゴルフ普及」
- 「早期ゴルフリタイアの原因と防止策」

2) 日本ゴルフ関連団体協議会の活動

日本ゴルフ関連団体協議会（構成団体：当協会、(公財)日本ゴルフ協会、(一社)日本ゴルフ場経営者協会、(公社)日本パブリックゴルフ協会、(公社)ゴルフ緑化促進会）は、日本ゴルフサミット会議運

営会議と連携し平成29年1月18日(水)にANAインターコンチネンタルホテル東京において2017年ゴルフサミット会議、ゴルフ新年会を開催した。

尚平成28年度はそのほかに平成28年7月21日(木)と11月15日(火)に2回のサミット会議を開催し2017年サミット会議の活動テーマなどの策定を行った。

(1) 2017年ゴルフサミット会議

9時30分から「プリズムの間」に於いて当協会 馬場会長はじめ業界17団体の代表者の出席のもと開催され、2017年活動計画が検討され、以下の活動テーマを承認し、引き続き強力で推進すべきとの確認がなされた

① 2016年活動状況についての報告

② 2017年活動方針の策定

1. ゴルフの活性化をはかる

1. 統一テーマによるゴルフ活性化への取組み(3課題)

ア. ゴルフ振興の中期目標:20歳代後半から30歳代前半のゴルフ実施率を10%強に引き上げる。

【具体的活動方針】

①「大学のゴルフ授業」充実に向けた産学連携協力の推進

②「高等学校学習指導要領」の保健体育に「ターゲット型球技」を要望

③地域との連携による地域密着型ゴルフ振興

④日本ゴルフサミット会議参画団体間の連携強化

⑤ゴルフ関連企業のゴルフ振興企画を援助推進

イ. 選手強化

ウ. イメージアップ

2. 団体の活動目的に即した「ゴルフ活性化活動」

2. ゴルフ場利用税廃止を求める運動

3. 国家公務員倫理規程における「ゴルフ」の削除

4. 暴力団等反社会勢力の排除

出席 17団体代表者、代理出席者

③記者会見 サミット会議での決議事項の説明が有り質疑応答があった。

(2) 2017年ゴルフ新年会の開催

①新春特別講演会 11:30~12:30 B1F「ギャラクシー」

日本再興戦略「スポーツの未来開拓」

講演者:鈴木大地スポーツ庁長官

③ 新年会パーティー 12:40~14:30 B1F「プロミネンス」

17団体代表挨拶 (公財)日本ゴルフ協会 竹田 恆正会長

参加者総数:約820名(報道関係者含む)

3)ジュニア育成活動

(1) NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)

①JGGAジュニア委員会は、JGC(当協会を含む10団体で構成)と連携し、ジュニアゴルファーの育成に努めている。

・JGCは、世界中の人々がゴルフを通じて健康的で豊かな生活がおくれるように、子どもたちへのゴルフの普及啓発活動、指導者養成事業を行い、社会教育の推進及びスポーツの振興に寄与することを

目的に1999年に関連10団体により創設され、2004年にNPO法人の認可を受けた。

・その事業内容は

- i) それぞれの団体の活動をコーディネートし、子供たちが継続してゴルフに接し、楽しめるような環境を整える。
- ii) 活動に必要なさまざまな資料を提供する。
- iii) 全国各地でJGC活動を支援協力くださっている方々を組織化し、活動の促進を図る。
- iv) 事業・活動に関わるゴルフレッスンの専門指導技術のみならず社会教育学習内容を伴う講習会、研修会を開催する。

② JGC ジュニア育成指導者「コーチトレーニングセミナー」開催・

③ その他

- i) ジュニアゴルフ普及事業
- ii) コーチ要請事業
- iii) 普及・啓発事業

(2) JGGAジュニア委員会の活動

①日立3ツアーズチャンピオンシップ」に協力

平成28年12月11日(日) グリッサンドゴルフクラブ(千葉県)

スナッグ体験コーナーには55名が参加

ジュニアレッスン参加者にグリーンマーカー進呈100ヶ(ヤマト徽章協賛)

②ジャパンゴルフフェア2017ジュニア関連報告

1) NPO法人 日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)

<スナッグゴルフ体験会>

日時: 平成29年3月24日(金)~26日(日)

場所: 展示ブース内JGCコーナー、ファミリーゴルフ広場

内容: 女子プロの指導により年齢に合わせたショット、パットの体験

サポート: プロ2名、スタッフ5名

参加費: 無料

2) PGA, LPGA試打ブース内にて

各プロによるジュニアレッスン会開催。

日時: 平成29年3月24日(金)~26日(日)

場所: パシフィコ横浜展示ブース内 PGA・LPGA試打ブース

参加者: 一般も含めての為、ジュニアの参加人数不明

4) (公財)日本ゴルフ協会(JGA)

① R&A「用具規則変更」等に関する連携

(R&Aとのミーティングの開催、R&A用具規則セミナーの開催、リリースの翻訳 etc)。

② 「第41期ゴルフ用品販売技術者講習会」への講師派遣を要請。(ゴルフ用具規則)

③ JGAが発行した「ゴルフ規則書」2016年版を当協会会員に有償頒布行い、
ゴルフ規則の周知徹底に協力。 <頒布実績> 2016年版 3,430冊

5) スポーツ用品公正取引協議会

①市場正常化に対応する事業活動面での連携

「スポーツ用品の表示に関する公正競争規約」の遵守に関する諸問題の解決に向けて、双方よく連携して市場正常化に向けて取り組んだ。

- ① 「第41期ゴルフ用品販売技術者講習会」において「スポーツ用品の表示に関する公正競争規約」の周知徹底のため講師派遣を要請。

また規約パンフレットの提供を受け、規約遵守に向けて対応した。

6) (一財)生活用品振興センター

- ① 生活用品PLセンターの製品事故情報の入手。
- ② 「模倣輸入品防止マニュアル」の提供と模倣品対策の参考資料。

7) 全国運動用品商工団体連合会

- ① スポーツ用品情報ネットワーク構築のための研究会との連携。
- ② 平成29年新春記者懇談会の開催に向けた連携。

4. 情報及び資料収集と整備

1) 業界に関する統計資料の整備

品種別国内出荷数量・金額の統計資料、品種別輸出輸入統計資料、小売版分析資料、ゴルフ場数・延べ利用者数などの統計資料を整備し、内外部からの問合せに対応した。

ゴルフ産業白書、スポーツ産業白書、レジャー白書などを必要に応じて購入して対応した。

またゴルフ場入場者情報は(一社)日本ゴルフ場経営者協会より入手しJGGAニュースで紹介。

講習会受講生に国内出荷の統計資料提供。

Ⅲ.会議の実施状況

1. 通常総会

通常総会は、平成28年6月15日(水)に大阪のホテルメルパルク大阪で開催され、下記の事項が承認された。

- 1) 平成27年度の事業報告及び決算報告について
- 2) 平成28年度の事業計画及び収支予算について
- 3) 定款変更に関する件
- 4) 役員選任承認に関する件

2. 理事会

第1回	平成28年	5月18日(水)	東京ガーデンパレス
第2回	平成28年	9月14日(水)	東京ガーデンパレス
第3回	平成28年	11月16日(水)	東京ガーデンパレス
第4回	平成29年	3月15日(水)	東京ガーデンパレス

3. 委員会・部会 各委員・部会は、次のとおり開催された。

1) 総務委員会

平成28年4月 書類による委員会実施 計1回

2) 広報委員会

平成28年4月26日(火)～ 毎月開催 計12回

3) 講習会委員会

平成28年6月8日(水)～(6/8、7/12、8/25、9/20、11/22、2/1、3/8) 計7回

4) ジャパンゴルフフェア実行委員会

実行委員会：平成28年4/21、5/24、6/23、7/20、9/21、10/20、11/18、12/20、

平成 29 年 1/23、2/21、3/23

計 1 1 回

5) ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)

平成 2 8 年 4 月 1 1 日 (月) ~

(4/11、5/12、6/16、7/13、8/22、9/15、10/25、11/21、12/15、1/20、2/21、3/16) 計 1 2 回

6) JGGA 活性化委員会

平成 2 8 年 4 月 1 9 日 (火) ~ (4/19、6/7、7/12、9/20、11/22、2/1、3/8) 計 7 回

7) 製造渉外委員会

- ・ 製造渉外委員会 平成 28 年 5/12、9/8、11/10、12/8 平成 29 年 3/9 計 5 回
- ・ 各ワーキンググループ 平成 28 年 : 4/7、5/12、6/9、7/7、8/4、9/8、10/6、11/10、12/8,
平成 29 年 : 1/12、2/9、3/9 計 1 2 回

8) インダストリーカップ委員会

平成 2 8 年 6 月 7 日 (火) ~ (6/7、7/12、9/20、11/22、3/8) 計 5 回

9) 流通委員会

平成 2 8 年 5 月 1 2 日 (木) ~ (5/12、9/9、11/9) 計 3 回

以上